

名家連ニュース

平成 27 年 12 月 19 日 (土)
発行：特定非営利活動法人
名古屋市精神障害者家族会連合会
会長 堀場 洋二
TEL/FAX(052) 411-2890 NO. 387 号

年金講演会－不支給・級落ちの動きを警戒



12月15日(火)の年金講演会は、173名の参加者のうち医療・福祉のPSWや社労士など支援関係者が2/3を占めました。(愛家連事務局情報)

青木先生(日福大教授・全福連理事)の講演では、障害年金が本人と家族の「日常生活の質の向上」「病気の安定と回復、社会参加に不可決」であること、白石先生(社労士)は、愛知県における障害年金の不支給と級落ちの実態を具体的な数値と実体験に基づく事例を紹介して、認定医の判定を告発・警鐘しました。家族会の年金相談に携わってきた名家連堀場会長は、障害状態確認届(更新時)の心得として「前回の診断書と比較する」「不安な場合は家族会に相談する」「素人判断はしない」「身近な支援者、社労士と相談する」ことを強調しました。また、精神障害者の障害年金認定基準の不備を指摘し、抜本的改正案を提案しました。

12月18日(金)、本会議には愛知障害フォーラム(ADF)傘下の障害者団体、当事者、家族が傍聴し、歴史的瞬間に立ち会いました。ADF結成以来、実に8年に及んだ悲願は紆余曲折を経ながら、障害者団体の要望事項を反映した条例が成立しました。

愛知県議会本会議で可決成立！ 全国17番目の障害者差別解消推進条例



議会閉会后、加賀代表、仁木副代表、堀場幹事会議長、辻事務局長が県議会各会派を表敬訪問し、理解と協力に対する挨拶と調整委員会・普及啓発など条例を担保する予算の確保などについて要請を行いました。

その後、記者クラブで記者会見を開き、新聞社2社、テレビ局2社が出席した。辻事務局長の進行で加賀代表が声明文を披瀝し、堀場幹事会議長が補足説明を行った。声明文は「お力添えを頂いた関係者への感謝」と「条例制定はゴールではなく障害者差別のない社会を実現するためのスタートであること」及び「調整委員会の委員選定や広報・啓発活動、差別事例や合理的配慮の事例収集や3年後の見直しなど、今後とも“わたしたち抜きに、わたしたちのことを決めないで”のスローガンを大切に進めてほしい」という立場を明らかにしています。

県議会各会派表敬訪問 記者会見でのADF声明 愛知県障害福祉課懇談

引き続き、愛知県障害福祉課と調整委員会や協議会の構成、リーフレットやパンフレットの作成、職員研修など啓発・研修について忌憚のない意見交換を行いました。



引き続き、愛知県障害福祉課と調整委員会や協議会の構成、リーフレットやパンフレットの作成、職員研修など啓発・研修について忌憚のない意見交換を行いました。

平成 28 年 1 月 30 日 (土) 午後 1 時～4 時 30 分 熱田区役所講堂

あした天気にな～れ

愛知県精神保健福祉士協会主催
シンポジストに堀田名家連副会長出席
～誘い合ってご参加下さい～